

令和7年播種（令和8年産）麦類作況試験生育状況（古川農試）〔3月20日付調査結果〕

* 3月19日に調査を実施（幼穂長や葉数は3月18日に調査）

1 気象概況〔2月中旬～3月中旬〕(図1)

- 平均気温は、2月第5、6半旬で平年より高く経過した。
- 日照時間は、3月第2～4半旬で平年より多く、2月第3～5半旬、3月第1半旬で平年より少なかった。
- 降水量は、2月第3～4、6半旬、3月第2～4半旬で平年より少なかった。

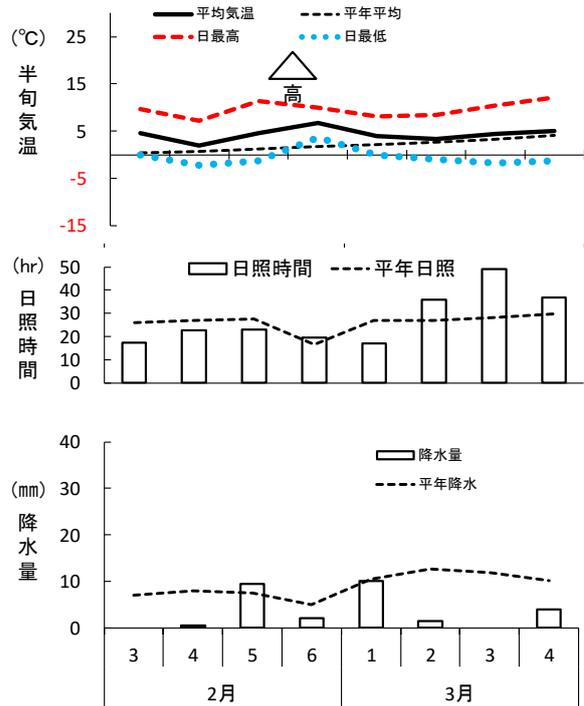


図1 気象経過 古川アメダス

2 生育概況

1) 3月19日現在の生育状況（表1）

10月中旬播種区

- 大麦の草丈は「シュンライ」が9.3cm、「ミノリムギ」が10.6cmで、平年より短く、「ホワイトファイバー」は9.4cmで前年よりも短かった。小麦では「シラネコムギ」が15.1cm、「夏黄金」が13.2cmで平年並であった。
- 大麦の茎数は、「シュンライ」が613本/m²、「ミノリムギ」が853本/m²で平年より少なく、「ホワイトファイバー」は690本/m²で、前年よりも少なかった。小麦は「シラネコムギ」が1287本/m²で平年より多く、「夏黄金」が967本/m²で平年並であった。
- 大麦の葉数は、「シュンライ」が7.8枚で平年差-0.1、「ミノリムギ」が8.0枚で平年差-0.2、「ホワイトファイバー」が8.3枚で前年差+0.2、小麦は「シラネコムギ」が7.9枚で平年差-0.4、「夏黄金」が8.4枚で平年差+0.4であった。
- 大麦の葉色（SPAD値）は、「シュンライ」が40.9、「ミノリムギ」が41.6、「ホワイトファイバー」が42.7、小麦は「シラネコムギ」が37.5、夏黄金が45.0であった。

10月下旬播種区

- 大麦の草丈は、「シュンライ」が7.7cm、「ミノリムギ」が7.8cmで平年より短く、「ホワイトファイバー」は8.9cmで前年並であった。小麦は「シラネコムギ」が12.1cm、「夏黄金」が9.5cmでやや短かった。
- 大麦の茎数は、「シュンライ」が540本/m²、「ミノリムギ」が415本/m²で、平年より少なく、「ホワイトファイバー」は740本/m²で、前年よりも少なかった。小麦は「シラネコムギ」が780本/m²、「夏黄金」が610本/m²で平年より少なかった。
- 大麦の葉数は、「シュンライ」が7.2枚で平年差+0.5、「ミノリムギ」が7.5枚で平年差+0.4、「ホワイトファイバー」が7.7枚で前年差±0.0、小麦は「シラネコムギ」が7.3枚で平年差±0.0、「夏黄金」が6.7枚で平年差-0.1であった。
- 大麦の葉色（SPAD値）は、「シュンライ」が46.4、「ミノリムギ」が47.3、「ホワイトファイバー」が48.7、小麦は「シラネコムギ」が46.8、「夏黄金」が46.7であった。

2) 3月18日現在の幼穂長及び幼穂分化程度と生育ステージの予測(表2、3)

10月中旬播種区

- ・大麦の幼穂長は、「シュンライ」が3.2mmで平年差-1.2mm、「ミノリムギ」が3.0mmで平年差-0.5mmであった。「ホワイトファイバー」は3.1mmで、前年差-0.7mmであった。
- ・小麦の幼穂長は、「シラネコムギ」が0.6mmで平年差-1.2mm、「夏黄金」が1.1mmで平年差-0.8mmであった。幼穂形成始期には、「夏黄金」が3月18日に達した。
- ・「シュンライ」では、減数分裂期が4月17日、出穂期が4月25日、開花期が5月2日と予測される。「ミノリムギ」では、減数分裂期が4月18日、出穂期は4月28日、開花期は5月4日と予測される。「ホワイトファイバー」では、減数分裂期が4月17日、出穂期は4月24日、開花期は5月2日と予測される。
- ・「シラネコムギ」では、減数分裂期が4月29日、出穂期が5月8日、開花期が5月18日と予測される。「夏黄金」では、減数分裂期が4月26日、出穂期が5月4日、開花期が5月15日と予測される。

10月下旬播種区

- ・大麦の幼穂長は、「シュンライ」が2.1mmで平年差-0.5mm、「ミノリムギ」が2.0mmで平年差-0.4mmであった。「ホワイトファイバー」は2.3mmで、前年差±0.0mmであった。幼穂形成始期には、「シュンライ」が2月20日、「ミノリムギ」が2月27日、「ホワイトファイバー」が2月23日に達した。
- ・小麦の幼穂長は「シラネコムギ」が0.6mmで平年差-0.6mm、「夏黄金」が0.5mmで平年差-0.7mmであった。
- ・「シュンライ」では、減数分裂期が4月20日、出穂期が4月28日、開花期が5月4日と予測される。「ミノリムギ」では、減数分裂期が4月22日、出穂期は5月1日、開花期は5月7日と予測される。「ホワイトファイバー」では、減数分裂期が4月20日、出穂期は4月26日、開花期は5月4日と予測される。
- ・「シラネコムギ」では、減数分裂期が4月29日、出穂期が5月9日、開花期が5月19日と予測される。「夏黄金」では、減数分裂期が5月1日、出穂期が5月9日、開花期が5月18日と予測される。

3 栽培管理の状況

- ・幼穂形成期追肥を大麦の中旬播種区で2月28日、大麦の下旬播種区で3月9日に実施した。
- ・2回目の踏圧を3月3日に実施した。
- ・春除草を3月13日に行い、ハーモニーDF水和剤を散布した。

表 1 生育状況

品種	区別	草丈(cm)			茎数(本/m ²)			葉数(枚)			葉色(GM値)			
		本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年比(%)	平年比(%)	本年	前年差	平年差	本年	前年差	平年差	
大麦	シュンライ	中旬播種区	9.3	69	63	613	62	64	7.8	-0.5	-0.1	40.9	-9.0	-
		下旬播種区	7.7	88	74	540	74	70	7.2	+0.6	+0.5	46.4	-6.7	-
	ミノリムギ	中旬播種区	10.6	88	74	853	76	83	8.0	-0.4	-0.2	41.6	-9.1	-
		下旬播種区	7.8	72	66	415	41	46	7.5	+0.4	+0.4	47.3	-4.5	-
ホワイトファイバー	中旬播種区	9.4	75	-	690	66	-	8.3	+0.2	-	42.7	+5.6	-	
	下旬播種区	8.9	103	-	740	88	-	7.7	±0	-	48.7	+3.0	-	
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	15.1	99	96	1287	113	134	7.9	-0.3	-0.4	37.5	-3.6	-
		下旬播種区	12.1	103	95	780	92	82	7.3	-0.2	±0	46.8	-0.0	-
	夏黄金	中旬播種区	13.2	113	101	967	80	97	8.4	+0.2	+0.4	45.0	+0.1	-
		下旬播種区	9.5	96	93	610	65	76	6.7	+0.1	-0.1	46.7	-3.6	-

注1) 中旬播種区は令和7年10月22日播種、下旬播種区は令和7年10月30日播種。条間25cmドリル播き、播種量は中旬播種区が9.0kg/10a、下旬播種区が10.0kg/10a。

注2) 平年値は過去7か年のうち最高値、最低値を除いた5か年の平均。草丈と茎数については、積雪で未調査の年があったため、平年値は調査を実施した過去6か年分の平均値とした。前年比・差、平年比・差はそれらとの比較。

注3) ホワイトファイバーは令和6年播種(令和7年産)から調査を開始したため前年比・差はない。

注4) 草丈と茎数、葉色は各試験区の調査区画(1m×2条)の3か所の平均値。

注5) 葉色はSPAD502plus(コニカミノルタ社製)を用いて計測した。令和6年播種(令和7年産)から測定を開始したため平年差はない。

注6) 葉数は各試験区の中庸な株6株の平均値。

表 2 幼穂長及び幼穂分化程度

品種	区別	幼穂長(mm)			幼穂分化程度	幼穂形成始期			
		本年	前年差	平年差		本年(月日)	前年(月日)	平年(月日)	
大麦	シュンライ	中旬播種区	3.2	-2.2	-1.2	IX	2/4	1/6	1/13
		下旬播種区	2.1	-0.3	-0.5	IX	2/20	2/19	2/27
	ミノリムギ	中旬播種区	3.0	-0.3	-0.5	IX	2/11	1/20	1/28
		下旬播種区	2.0	-0.5	-0.4	IX	2/27	2/21	2/27
ホワイトファイバー	中旬播種区	3.1	-0.7	-	IX	2/9	1/7	-	
	下旬播種区	2.3	±0.0	-	IX	2/23	2/17	-	
小麦	シラネコムギ	中旬播種区	0.6	-1.2	-1.2	VIII	-	3/10	3/2
		下旬播種区	0.6	-0.6	-0.6	VI	-	3/15	3/16
	夏黄金	中旬播種区	1.1	-0.6	-0.8	VI	3/18	3/14	3/3
		下旬播種区	0.5	-0.5	-0.7	VI	-	3/18	3/17

注1) 中旬播種区は令和7年10月22日播種、下旬播種区は令和7年10月30日播種。条間25cmドリル播き、播種量は中旬播種区が9.0kg/10a、下旬播種区が10.0kg/10a。

注2) 幼穂長は、各試験区の中庸な株6株における主茎と1号分けつ、2号分けつの幼穂長の平均値。

注3) ホワイトファイバーは令和6年播種(令和7年産)から調査を開始したため平年値はない。

注4) 平年値は過去7か年のうち最高値、最低値を除いた5か年の平均。前年差、平年差はそれらとの比較。

注5) 幼穂分化程度: V期未満は省略。

注6) 幼穂形成始期: 幼穂長1mmに達した日。

〔参考〕麦類の幼穂分化程度と幼穂長(mm)

品種	苞分化期	小穂分化期				穎花分化期	
	V	VI	VII	VIII	IX	X	
小麦(シラネコムギ等)	0.5	0.5~0.6	0.6~1.0	1.0~1.2	1.2~4.0	4.0~5.0	
大麦(シュンライ等)	0.5	0.5~0.7	0.7~1.5	1.5~2.0	2.0~4.0	4.0~5.0	

注1) 幼穂分化程度はI~Xの10期に分類されるが、V期以前は外部形態による判定が困難であるため省略した。

注2) 厳密にはVII期は前期と後期に、IX期は前期、中期、後期に区分される。

表3 減数分裂期、出穂期、開花期の本年予測値

品種名	区分	減数分裂期			出穂期			開花期			
		予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	予測値 (月日)	前年値 (月日)	平年値 (月日)	
大 麦	シュンライ	中旬播種区	4/17	4/12	4/10	4/25	4/21	4/22	5/2	4/28	4/30
		下旬播種区	4/20	4/19	4/17	4/28	4/25	4/27	5/4	5/3	5/4
	ミノリムギ	中旬播種区	4/18	4/17	4/16	4/28	4/24	4/26	5/4	5/2	5/3
		下旬播種区	4/22	4/21	4/20	5/1	4/27	5/1	5/7	5/6	5/6
	ホワイトファイバー	中旬播種区	4/17	4/13	-	4/24	4/23	-	5/2	4/29	-
		下旬播種区	4/20	4/19	-	4/26	4/26	-	5/4	5/4	-
小 麦	シラネコムギ	中旬播種区	4/29	4/24	4/24	5/8	5/2	5/2	5/18	5/14	5/13
		下旬播種区	4/29	4/26	4/26	5/9	5/6	5/6	5/19	5/15	5/16
	夏黄金	中旬播種区	4/26	4/24	4/24	5/4	5/2	5/3	5/15	5/14	5/13
		下旬播種区	5/1	4/25	4/26	5/9	5/5	5/5	5/18	5/16	5/15

注1) 中旬播種区は令和7年10月22日播種、下旬播種区は令和7年10月30日播種。条間25cmドリル播き、播種量は中旬播種区が9.0kg/10a、下旬播種区が10.0kg/10a。

注2) ホワイトファイバーは令和6年播種(令和7年産)から調査を開始したため平年値はない。

注3) 平年値は過去7か年のうち最高値、最低値を除いた5か年の平均。

注4) 減数分裂期: 幼穂長が3cmに達した日。

注5) 出穂期: 全茎の40~50%が出穂した日。

注6) 開花期: 全穂数の40~50%が開花した日。

注7) 予測値は麦類の生育ステージ予測シートver4.0を用いて、生育中庸な株6株の主茎幼穂長の平均値をもとに算出した。

注8) 予測日については今後の天候等で前後する可能性がある。

参考: [麦類の生育ステージ予測シート Ver. 4.0\(追補\)](#)